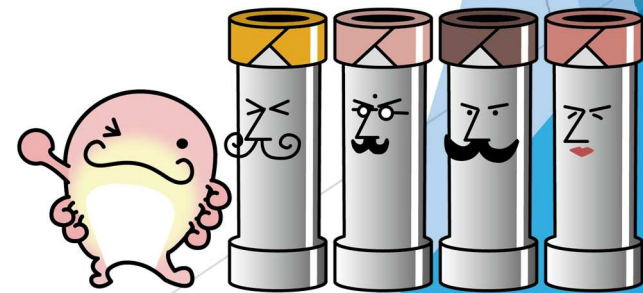


郡山市の下水道

令和6（2024）年1月24日

郡山市長 品川 萬里



郡山市上・下水道キャラクター「くまっち」と「ド・カーン兄弟」

福島県の中央に位置する中核市・郡山市は、「国営安積開拓」及び明治政府初の国営農業水利事業「安積疏水開さく」を発展の礎に、1924年9月1日に全国99番目の市として市制を施行しました。

現在、東北新幹線、東北自動車道や磐越自動車道が縦横に交差した優れた交通網を有し、「人」、「モノ」、「情報」で繋がる経済県都、「知の結節点」として発展しております。

また、安積疏水の「未来を拓いた『一本の水路』日本遺産」認定、「セーフコミュニティ国際認証」（取得2018年）、近隣市町村との連携による「こおりやま広域圏連携中枢都市圏」の形成、「SDGs未来都市」（選定2019年）など、国際社会の動向や国の新たな政策に対応し、未来を見据えた挑戦を続けています。

本市は、2024年、市制施行100周年の節目を迎え、
「ひらけ 未来へ こおりやま」
をキャッチフレーズに、多様な個人それぞれが
幸せや生きがいを感じられる
「ウェルビーイング (well-being)なまち郡山」
の実現を目指しております。



2024.1.1現在	
人口	321,329人 (県内1位)
世帯数	143,174世帯

郡山市の概要 (都市の産業発展に向けた取組み)



農業：米収穫量 県内第1位、鯉生産量 全国第1位 (2022)
 商業：商品販売額 東北第2位・県内1位 (2021)
 工業：製造品出荷額等 東北第4位・県内2位 (2021)

福島県エリア：国内屈指の「医療機器生産県」
 医療用機械器具の部品等出荷金額 都道府県第1位 (2020)
 医療機器生産金額 都道府県第3位 (2021)

再エネ研究の推進

国立研究開発法人産業技術総合研究所
 福島再生可能エネルギー研究所 (FRE A)
 (再生エネに特化した国内唯一の
 国立研究機関)

医療の開発支援

ふくしま医療機器開発支援センター
 (医療機器の開発から事業化を
 一体的に支援する国内初の施設)

市内に14か所の産業団地
 (郡山市は、企業間・団地間の触媒役)

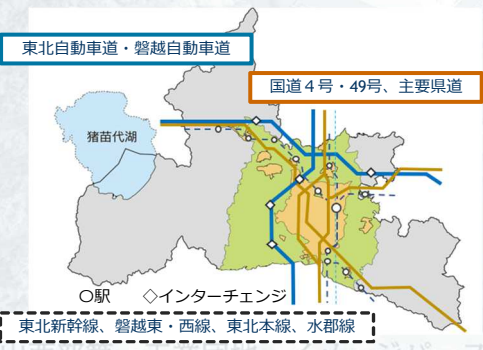
化学産業の立地

保土谷化学工業(株)、日本化学工業(株)
 日東紡富久山事業センター
 新日本電工(株)、東京応化工業(株)
 (安積疏水による水力発電を礎に、
 紡績・化学工場の立地)



都市発展に向け立地を活かし、産業集積と企業立地を進めていく。

●恵まれた立地 (交通アクセス)



- ・ 高速道路が東西南北に交差する **東日本のクロスポイント**・5つのインターチェンジ
- ・ 東北新幹線・磐越西線・磐越東線・水郡線に駅11か所と貨物ターミナル駅1か所
- ・ 福島空港による空路
 (福島空港⇔大阪方面・伊丹空港70分、札幌方面・新千歳空港90分)



郡山中央スマートインターチェンジ (2019年開通)



本市11番目の駅 郡山富田駅 (2017年開業)



(資料) : JR東日本のウェブサイト 駅情報から



郡山駅から福島空港まで車で40分
 2024年1月から台湾チャーター便も就航



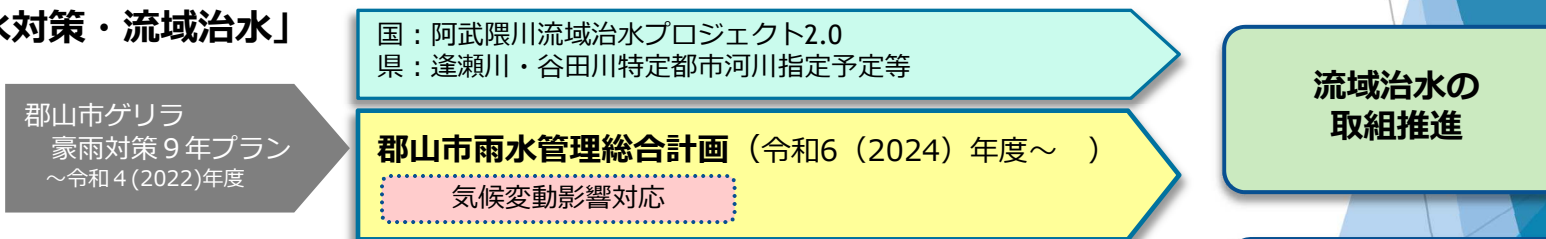
○下水道事業のあゆみ・状況

- ・ 昭和33（1958）年5月
郡山市公共下水道事業計画認可
- ・ 平成14（2002）年7月
湖南特定環境保全公共下水道の供用開始
- ・ 平成20（2008）年3月
公共下水道事業を流域下水道へ切替
- ・ 平成26（2014）年9月
郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン「100mm/h安心プラン」に登録

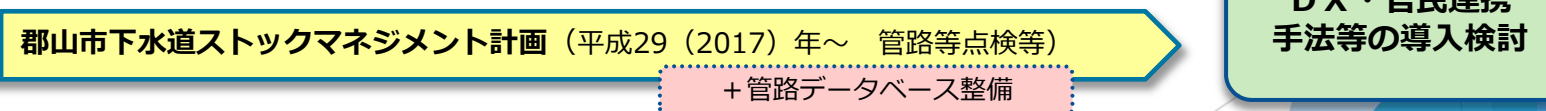
公共下水道（湖南特環含む）	75.1%
農業集落排水	3.6%
合併処理浄化槽	14.5%
汚水処理人口普及率	93.2%

○下水道事業の主な取り組み

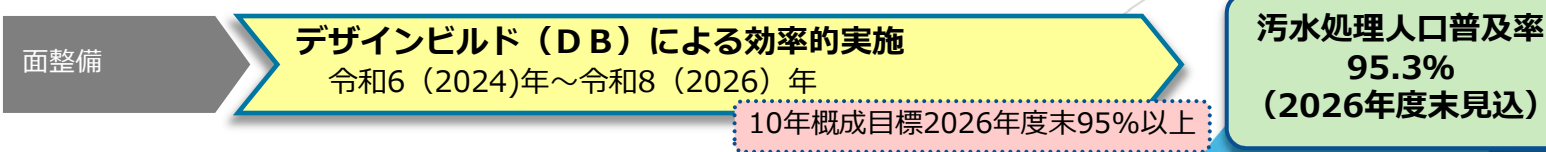
1 「浸水対策・流域治水」



2 「ストックマネジメント・DX」



3 「効率的な下水道整備事業（面整備）」



1 下水道施設（管路やポンプ施設等）の改築整備に対する国費支援について

人口減少等により下水道使用料収入の減少が見込まれている一方で、下水道施設の更新・修繕等に要する費用については、物価、人件費など経費増加の傾向もみられ、年数経過とともに更新需要の増大が見込まれる中、確実な維持管理を進めていくためにも、下水道施設の改築整備に対する国費支援を継続・強化するようお願いいたします。

◎参考データ（P7）

「1 下水道使用料の試算 2022-2064 」

「2 汚水管渠整備延長の推移 1958-2033 」

◎改築整備費用の見込額

防災・安全交付金対象の 改築整備事業費見込額	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度 本要望	令和7(2025)年度 計画
交付金対象の整備事業費見込額	446,200千円	215,200千円	695,000千円
(国補助額)	223,100千円	107,600千円	347,500千円

2 ウォーターPPPの導入検討に向けた積極的な支援について

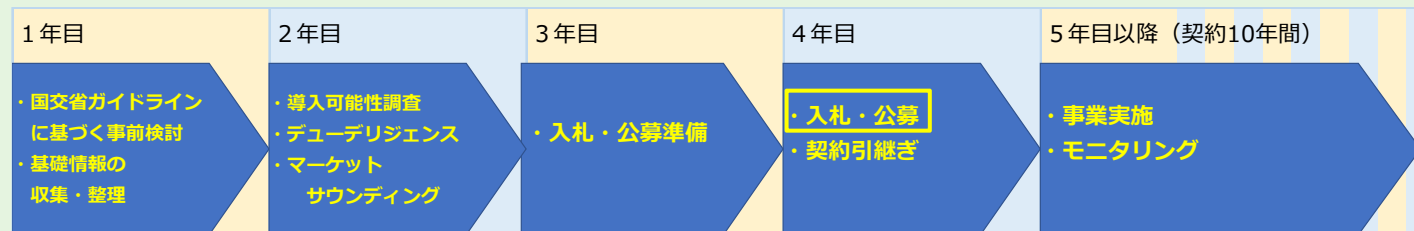
【内閣府（民間資金活用事業推進会議）】

令和5年6月「PPP/PFI推進アクションプラン」の改定

- ・下水道事業に関して新たな官民連携手法（ウォーターPPP）による推進目標が追加となる。
- ・また、導入促進に向け、令和9（2027）年度以降の下水道管路改築に係る交付金について、令和8（2026）年度までに、ウォーターPPP（「管理・更新一体マネジメント方式」レベル3.5以上）の導入決定を行うことを要件とする方針も示される。

当該導入期限は、ガイドライン等で示される標準的な準備期間を考慮すると、最短期間で導入を図る設定であり、導入に向けた検討を速やかに進めていくために、ガイドライン等の技術的助言と併せて、先行事例や課題解決事例の情報や、検討業務に要する経費、企業や地域事業者の理解・協力に向けた周知・取り組みなど、財政的支援をはじめ、情報提供や機運の醸成など積極的なご支援を賜りますようお願いいたします。

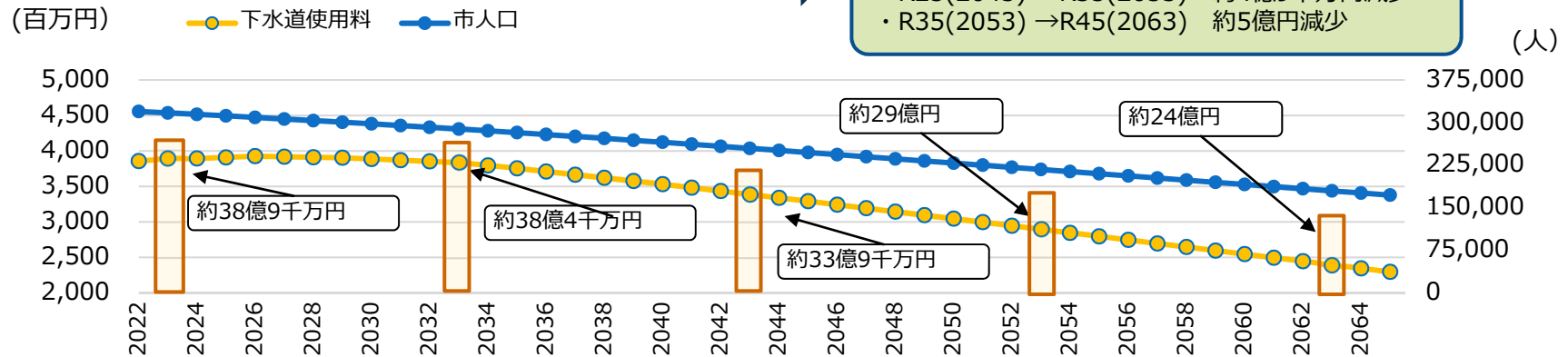
●導入期間について、ガイドライン等では、初期検討段階から各段階を経て、導入まで最短でも4年以上必要とされている。



※「導入決定」
=入札・公募の開始

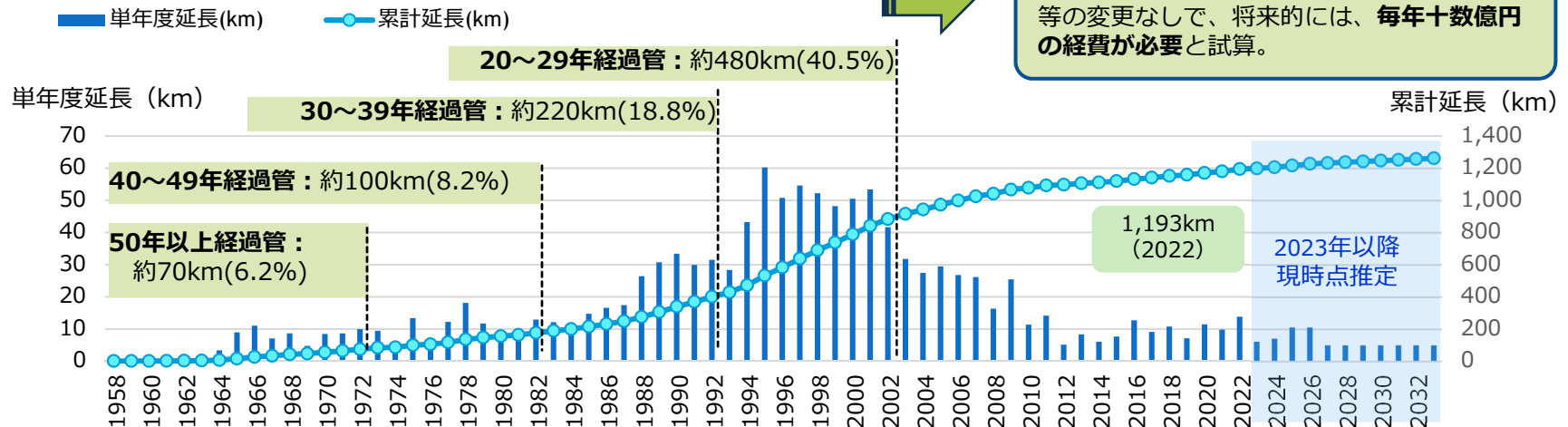
1 下水道使用料の試算 2022-2064

[参考: 国立社会保障・人口問題研究所(2018)]



2 污水管渠整備延長の推移 1958-2033

(2023年以降は推定値)



ご清聴ありがとうございました。

